

# 日野市史

通史編一

自原始  
古代然



# 日野市史

通史編一

自然  
原始・古代

## 目次

題字 丸山 鑾 溪

凡 例  
序 序 口 繪

### 自然編

#### 第一章 自然環境

##### 第一節 日野の地理的位置と地学

###### 一 地理的位置と面積

- 位置(三) 標高(七) 面積(七)
- 二 地学的な特色
- 地形(七) 地質の歴史(八) 関東ローム層(五)

##### 第二節 日野の地形と地質

- 一 多摩丘陵
- 地形(七) 地質(八) 平山砂層と三沢泥炭層(九)
- 二 日野台地
- 地形(九) 地質(三)
- 三 川の合流と沖積地
- 地形(三) 地質(七)
- 四 多摩川と浅川
- 多摩川(三) 浅川(四) 湧水(五)

##### 第三節 日野の気象

- 気候と地域(七) 気温と降水量(四) 年間天気日数と極地(四) 風(四)

#### 第二章 日野の生物

##### 第一節 日野の植物

七

七

七

三

三

九

七

七

七

三

三

三

- 一 林の植物 ..... 四〇
- 自然植生(四〇) 代償植生(四六)
- 二 河原や草原の植物 ..... 五二
- 河原の植物(五二) 草原の植物(五三)
- 三 市内の貴重な植物 ..... 五五
- 日野市の天然記念物(五五) 特記すべき植物(五六) 日野市の木と花(五六)
- 第二節 日野の動物 ..... 三三
- ほ乳類(三三) 鳥類(三四) は虫類(三四) 両生類(三四) 魚類(三七) 無脊椎動物(三七)

## 原始・古代編

- 第一章 旧石器時代 ..... 六九

- 第一節 旧石器時代の概観 ..... 六九

- 旧石器の発見(六九) 前期旧石器時代の文化(七〇) 後期旧石器時代の文化(七二)
- 後期旧石器時代の気候(七二)

- 第二節 市内の旧石器時代遺跡 ..... 六九

- 神明上遺跡(六九) 南平遺跡(六九)

- 第二章 縄文時代 ..... 一〇一

- 第一節 縄文時代の概観 ..... 一〇一

- 一 土器の出現と生活の変化 ..... 一〇一
- 縄文式土器の出現(一〇三)
- 二 縄文文化の変遷 ..... 一〇六
- 縄文時代草創・早期(一〇六) 縄文時代前期(一〇七) 縄文時代中期(一〇七) 縄文時代後・晩期(一一一)

- 第二節 集落と社会構造 ..... 一三三

- 一 縄文時代早期の生活 ..... 一三三
- 集落の出現(一三三) 神明上遺跡(一三三) 百草仁王塚遺跡(一三五)
- 二 縄文時代前期の生活 ..... 一三六
- 平山遺跡(一三六)
- 三 縄文時代中期の生活 ..... 一三九
- 遺跡の増加(一三九) 平山遺跡(一三九) 八王子市神谷原遺跡(一四一) 炬の変遷(一四一)
- その他の市内中期遺跡(一四二)

四 縄文時代後・晩期の生活……………二六

縄文文化の変質(二六)

第三節 生産と交易……………二八

一 狩猟と農耕……………二九

狩猟の変化(二九) 川の幸(三〇) 木の実と調理(三一) 縄文文化と農耕(三四)

二 貝塚と交易……………三〇

気候の変化と貝塚(三〇) 大形貝塚と交易(三二)

第四節 信 仰……………三四

一 遺跡から見た信仰……………三四

土偶(三四) 配石遺構(四〇) 敷石住居(四〇)

二 生活に密着した呪術……………四〇

縄文土器の文様(四〇) 埋甕(四二)

第三章 弥生時代……………四五

第一節 弥生時代の概観……………四五

稲作のはじまり(四五) 金属器の使用(五二) 祭祀用の青銅器(五五) 国際舞台への登場(五八)

第二節 弥生文化の東漸……………六〇

稲作農耕の伝播(六〇) 東日本への伝播(六二) 関東地方の水田跡(六三) 多摩地方の水田跡(六三)

第三節 集落の展開と方形周溝墓……………六六

弥生時代の集落遺跡(六六) 環濠集落遺跡(六七) 弥生時代終末期の遺跡(七〇)

日野市周辺地域の遺跡(七三)

第四章 古墳時代……………七九

第一節 古墳時代の概観……………七九

古墳時代の成立(八〇) 弥生時代後期の墳丘墓(八二) 古墳時代前期(八二) 古墳時代中期(八四)

古墳時代後期(八六)

第二節 日野市域における高塚古墳成立と展開……………八六

七ツ塚出土の銅鍬と石製鍬(八六) 中期の古墳(八八) 後期の古墳と埴輪(九〇)

横穴式石室の変遷(九三)

第三節 横穴墓の様相……………九七

初現期の横穴墓(九七) 武蔵地域の横穴墓群(九九) 多摩川中流域の横穴墓(一〇〇)

第四節 集落の展開……………三〇

日野地域の古墳時代集落(三〇)

第五章 古代の日野……………三七

第一節 大化の改新……………三七

七世紀の政治状況(三七) 七世紀代の日野(三六)

第二節 律令制の成立と展開……………三〇

律令制の施行と武蔵国(三〇) 武蔵国の國府と國司(三一) 武蔵國分寺の造営(三五)  
神明上遺跡(四一)

第三節 律令体制の衰退……………二九

悲田処の設置(二九) 小野牧と小野神社(三五) 落川遺跡(三五)

第六章 古代から中世へ……………二九

第一節 古代の郷と中世の郷……………二九

多摩郡の古代の郷(二五) 郡の大小(二六) 武蔵野と多摩丘陵(二六) 古代の郷の規模(二六)  
小野郷(二六) 吉富郷(二六) 得恒郷(二七) 土洲郷(二七) 郡の分制(二七) 別名制(二七)  
船木田庄(二七)

第二節 小野牧……………二九

小野牧の初見(二九) 官牧から勅旨牧へ(三〇) 駒率(三二) 貢上と官道の駅(三六)  
公民の負担(三六) 遅れる貢上(三六) 政府の対策(三六) 牧監と別当(三六) 牧監と  
別当の責務(三六) モデル牧場(三六) 小野諸興(三六) 諸興と小野系図(三六)  
小野牧の故地(四〇)

第三節 中世成立期の多摩の武士……………三三

横山氏(三三) 『横山党』(三六) 党のイメージ(三六) 平山季重の遺跡(三三)  
日奉氏と平山季重(三三) 平山氏と熊谷氏(三六)

附編 板 碑……………三九

板碑から見た中世の日野……………三三

一 板碑とは……………三三

- 二 板碑造立と宗教的・経済的基盤……………三〇
- 三 日野市内の板碑の分布……………三六
- 四 宗派別に見た日野市の板碑……………四一
- 五 造立者から見た板碑……………四四

- 日野市遺跡一覧……………四九

- 遺跡……………五〇
- 文献……………五七

- 執筆分担……………五五
- 掲載資料提供者並びに協力者一覧……………五六
- あとがき……………五七
- 日野市史編さん関係者名簿……………五八

見返し  
 多摩川に飛んできたハマシギ 撮影 大野 新一